

後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の概要

平成22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、6億6,000万円で、前年度の6億4,500万円に比べて1,500万円の増となり、伸率は2.3%となっています。

予算編成にあたっては、後期高齢者医療制度の円滑な運営を行うため、国の制度改正等の動向を注視しながら必要額を計上しました。

歳入については、保険料は3億2,784万円で前年度に比べ174万円の増（対前年度伸率0.5%増）、一般会計繰入金は3億3,109万円で1,220万円の増（同3.8%増）となっており、その内訳は、医療給付費定率負担が2億5,438万円で1,440万円の増（同6.0%増）、保険料の軽減分が4,804万円で272万円の増（同6.0%増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,401万円で169万円の減（同10.8%減）、町事務費が1,467万円で322万円の減（同18.0%減）となっています。

歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金は6億4,428万円で前年度に比べ1,717万円の増（同2.7%増）となっており、その内訳は、保険料負担金が3億2,784万円で174万円の増（同0.5%増）、保険基盤安定制度拠出金の県負担分が3,603万円で204万円の増（同6.0%増）、町負担分が1,201万円で68万円の増（同6.0%増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,401万円で169万円の減（同10.8%減）、医療給付費定率負担が2億5,438万円で1,440万円の増（同6.0%増）が主なもので、歳出全体の97.6%を占めています。

後期高齢者医療特別会計

○ 最近年度予算額

年 度	歳入歳出予算額	平成20年度を100とした指数	対前年度伸率
平成20年度	529,000	100.0	—
平成21年度	645,000	121.9	21.9%
平成22年度	660,000	124.8	2.3%

○ 前年度対比表

(歳入)

(単位:千円 %)

款 別	平成22年度		平成21年度		比較増減	対前年 伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 保 険 料	327,844	49.6	326,096	50.6	1,748	0.5
2. 繰 入 金	331,092	50.2	318,888	49.4	12,204	3.8
3. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4. 諸 収 入	1,063	0.2	15	0.0	1,048	6,986.7
歳 入 合 計	660,000	100.0	645,000	100.0	15,000	2.3

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

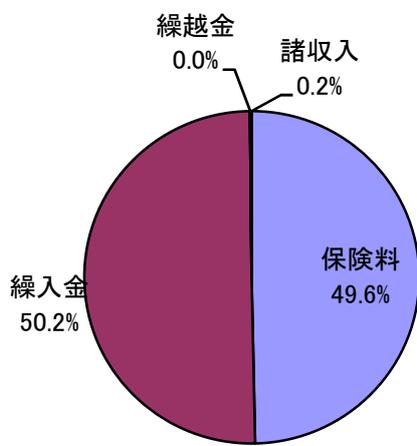
(歳出)

(単位:千円 %)

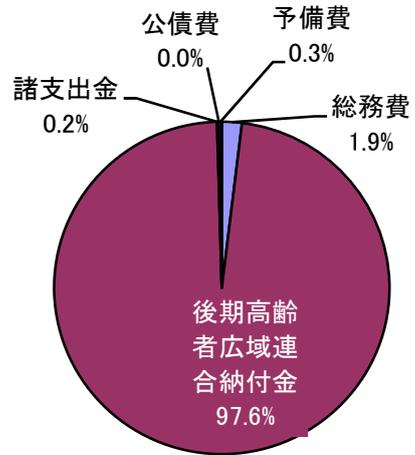
款 別	平成22年度		平成21年度		比較増減	対前年 伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 総 務 費	12,670	1.9	15,342	2.4	△ 2,672	△ 17.4
2. 後期高齢者医療 広域連合納付金	644,278	97.6	627,106	97.2	17,172	2.7
3. 諸 支 出 金	1,051	0.2	551	0.1	500	90.7
4. 公 債 費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 予 備 費	2,000	0.3	2,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	660,000	100.0	645,000	100.0	15,000	2.3

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

歳入の構成比



歳出の構成比



※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。